

2-P-44 青年期の女性の体重とその認知、ダイエット行動は、暴力行為と関連するか？

名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学¹⁾
東京都医学総合研究所²⁾
高知大学医学部神経精神科³⁾
東京大学大学院教育学研究科⁴⁾
東京大学精神保健支援室⁵⁾
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻⁶⁾
東京都立松沢病院⁷⁾

○白石 直¹⁾、西田 淳志²⁾
下寺 信次³⁾、佐々木 司⁴⁾
大島 紀人⁵⁾、渡辺 範雄¹⁾
明智 龍男¹⁾、古川 壽亮⁶⁾
岡崎 祐士⁷⁾

【目的】青年期の女性は、自らの体重を実際より太っていると認知する傾向があり、ダイエット行動に至る割合が高い。ダイエット行動が頻回になると、精神面にも悪影響を及ぼし、易怒性や集中困難、睡眠障害などと関連するとの報告があり、暴力行為のリスクとなる可能性がある。近年、中学生・高校生の校外での暴力行為発生率は増加を認め、年間5万件を超える状況が続いており、いわゆる“キレやすい子ども”として社会問題となっている。従って、本研究は、女子中学生・高校生におけるBody Mass Index (BMI) と体重の認知、ダイエット行動の頻度が暴力行為と関連するか否かを調査することを目的とする。【方法】津市と高知県における45の公立中学校と28の公立高等学校で実施されたメンタルヘルスのアンケート調査のうち、女子生徒9,112名の結果を解析した。解析方法としては、“対人暴力・対物暴力”を

従属変数、“BMI・体重の認知・ダイエット回数”を独立変数とし、“年齢・GHQ12得点・大人からの暴力・いじめの被害・喫煙・飲酒・違法薬物の使用”を他の独立変数として調節するロジスティック回帰分析を行った。【結果】BMIと体重の認知、他の交絡因子の可能性がある変数で調整後も、ダイエット回数と対人・対物暴力両者との有意な関連を認めた。対人暴力に対するオッズ比は1.18 (95%信頼区間: 1.09 ~ 1.27)、対物暴力に対するオッズ比は1.31 (95%信頼区間: 1.23 ~ 1.41)を示した。【考察および結論】青年期の女性における頻回のダイエット行動は、暴力行為の危険因子となる可能性が示唆された。頻回のダイエット行動が及ぼし得る精神面への悪影響を含む健全な食習慣に対する心理教育などの介入が重要と考えられる。

2-P-45 東日本大震災沿岸部被災者の精神的健康の変遷と現況

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門¹⁾
東北大学 災害科学国際研究所 災害医学研究部門 災害精神医学分野²⁾
独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 成人精神保健研究部³⁾
東北大学 大学院医学系研究科 公衆衛生学分野⁴⁾

○鈴木 大輔^{1,2)}、築田 美抄^{1,2)}
上田 稷^{1,2)}、中谷 直樹¹⁾
金 吉晴³⁾、辻 一郎^{1,4)}
寶澤 篤¹⁾、富田 博秋^{1,2)}

【背景および目的】東日本大震災の発生以来、宮城県七ヶ浜町において町役場と協働し精神保健活動を行っているが、震災やその後の混沌とした状況を経験しながらも、精神的健康を維持している人から顕著な問題に直面している人まで様々見受けられる。本調査研究は、七ヶ浜町の被災地域の住民を対象に心身の健康状態を把握し、適切な支援を行うことに加え、震災後の精神的健康の変遷の検討を通して個人の身体的・社会的特性が精神的健康の維持や回復に影響を及ぼす要因を特定するために行われた。【方法】調査対象者：1次調査は、震災発生当時七ヶ浜町に住み、家屋が大規模半壊以上の住民2801名を対象に2011年11月に行われた。2次調査は1次調査の対象者に加え1割以上の家屋が大規模半壊以上の被害を受けた沿岸5地区の住民2718名を対象に2012年11月に行われた。質問紙の構成：1次調査では、PTSD症状を測定する出来事インパクト尺度 (IES-R)、精神的健康を測定する

K6、不眠症の症状を測定するアテネ不眠尺度 (AIS)、喫煙・飲酒、生活状況、社会的ネットワークなどを問う項目から構成された。2次調査では、これに加えて震災発生当時の体験や防災意識を問う項目、さらにうつ病自己評価尺度 (CES-D)、複雑性悲嘆を評価する簡易版複雑性悲嘆評価尺度 (BGQ) などから構成された。尚、本研究は東北大学倫理委員会で承認されたプロトコルに基づき行った。【結果および考察】1次調査では、調査対象者の約3割がIES-Rが25点以上の心的外傷後ストレス反応PTSRの兆候を示す結果となり、それらの割合は女性や単身世帯が多く、60歳以上の高齢者が半数以上を占めていた。さらに暮らし向きが悪く体を動かしていない人の割合も有意に多かった。発表では、これらの1次調査の結果に加えて2次調査の結果やそれらの比較を通じた考察もあわせて報告する。